

会 議 録(1)

会 議 の 名 称	令和5年度 第4回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和5年12月22日(金) 午前10時00分 開会・午前11時15分 閉会
開 催 場 所	市庁舎 C棟 5階 501会議室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	有賀健高 上田圭吾 小野吉雄 河野真夢 栗山三千代 小林昌幸 近藤信弘 齋藤勝久 竹内國雄 永井健一 浜野良一 村野裕子 森洋子
欠席委員(者)氏名	岡崎洋志 坂本蓉
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課(事務局)主幹 松落義夫
会 議 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 家庭ごみ収集回数の見直しについての答申(案) 4 その他 廃棄物処理基本計画の内容修正 市長への答申日令和6年1月16日 次回の審議会日程及び内容 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料 ・【資料1】家庭ごみ収集回数の見直しについて答申書(案) ・【参考資料1】プラスチックごみ一括回収の実施及び家庭ごみ収集回数 の見直しについて(諮問) ・【参考資料2】プラスチックごみ一括回収の実施及び家庭ごみ収集回数 の見直しについて(答申) ・【資料2】一般廃棄物処理基本計画修正箇所
事務局職員職氏名	環境経済部 部長 岸 道博 次長 横田 一洋 副参事 中村 慧 副参事 橋本賢司 エコ・クリーン政策課 課長 竹廣 由美、主幹 松落義夫、 主査 西村 卓也 総合クリーンセンター 所長 石井 治彦、主幹 水村 昌秋
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○審議事項

家庭ごみ収集回数の見直しについて答申(案)

【資料1】【参考資料1、2】を用いて説明を行った。

○その他

- ・一般廃棄物処理基本計画の修正 【資料2】を用いて説明を行った。
- ・令和6年1月16日に会長・副会長で市長に答申を行う。
- ・次回第5回審議会を3月25日に予定している。

以上

会議録(3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>司会 小林会長</p>	<p>1 開会(配布資料の確認を含む。) 2 会長あいさつ</p>
<p>事務局</p>	<p>3 議題 家庭ごみ収集回数の見直しについて答申案 (【資料1】【参考資料1、2】を用いて事務局より説明を行った。)</p>
<p>小林会長</p>	<p>事務局からの説明についてご質問がありましたらお願いします。</p>
<p>浜野委員</p>	<p>概ね事務局の説明の内容でよろしいかと思えます。 3段落目の「現在入間市における1人1日当たりのごみ排出量は近隣市及び埼玉県平均を上回っています」という表現があるのですが、排出量のみならず、収集経費がかなり高止まりになっています。以前の審議会で、近隣市と比べると収集運搬委託料が、約1億円の差があることを指摘させていただきましたが、答申にも、収集経費のことも加えていただけたらと思います。 もう1点、付帯意見の最後に、「就労環境への配慮が必要と考えます」という表現がありますが、配慮するのは市ですか。</p>
<p>小林会長</p>	<p>ただ今、意見と質問がございました。その点についてはどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>答申書に収集経費の文言を入れるかどうかにつきましては、審議委員の皆さまでご審議いただきたいと思えます。 就労環境への配慮につきましては、市の方で具体的に何かできるかというところが難しいと思っておりますが、これまでの審議の中で皆様からご意見が多かったので、入れました。削除あるいは別の言葉がよろしいか、皆様からのご意見をいただければと思います。</p>
<p>浜野委員</p>	<p>配慮しなくてはならないのは事業主だと思いますが、市から事業主へ促せば良いため、この内容でいいと思います。</p>
<p>小林会長</p>	<p>ごみ排出量以外に経費の削減という意見がありましたが、委員の皆さんはどう</p>

発 言 者	発 言 内 容
近藤委員	<p>でしょうか。</p> <p>収集委託費が、単純に他市に比べ約1億円の差があるということではなく、委託業者の数が違うということもあります。委託収集の単価も13年以上変わっていないため、車両の価格、燃料の価格、社会保険料などの費用が、上がっている中で委託料が抑えられてきました。これ以上のコストダウンとなると、この先、人を募集しても集まりません。また、答申の最後に「高齢化が進みつつある」という内容がありましたが、「進みつつある」ではなく、進んでいます。そこも少し変えていただきたいです。</p> <p>これ以上、委託料を下げられてしまうと収集する人がいなくなってしまうので、安易にコスト削減を入れるのは反対です。</p>
小林会長	<p>ただいまの意見を踏まえましてコスト削減の問題について、答申書に入れるべきか、委員の皆さんの意見を伺います。</p>
村野委員	<p>諮問では、「収集委託費のコスト削減の観点や」、という文言があるので、コスト削減に関して何も触れないのも、答申としていかがなものかと思えます。しかし、審議会を重ねていく中で、皆さんの意見から収集日を週6日から5日にしてもコストは削減できないのではないかと考えているので、コスト削減という表現はおかしいのではないかと思います。コスト削減は大事ですが、審議会の中でその結論は出ていないと思えますので、入れるのであれば、コスト削減とはっきり入れずに、そのようなニュアンスの言葉で入れた方がよろしいかと思います。</p>
小林会長	<p>委託料の算出方法も分かっていない中で議論しても、何とも言えない部分があると思えますが、コスト削減をしていかなければならないというのは、当然出てくると思えますので、何かしら文言を入れておいた方がよろしいのではと思えます。</p>
村野委員	<p>答申書を出したところで、必ずしもそれが実行されるということではないとわかっていますが、答申に入れることで、思わぬところでこの内容が出てきて、廃棄物審議会の委員もこのように答申していますといったことになる可能性があるため、少し慎重に考える必要はあると思えます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	入れない方がよろしいのではという意見でしょうか。
村野委員	そうです。入れる場合は書き方が大事になると思います。
小林会長	コスト削減に変わるような文章がありましたらお願いします。
浜野委員	適切な文章は思い当たりませんが、表面的に見れば近隣市と比べて収集委託費が約1億円も違うことは、一般的に理由を知りたいところだと思うので、当たり障りのない文章でも入れておいた方がいいと思います。コストをどのように計算し比較するかというのは、この審議会で精査できていませんが、排出量並びに収集経費も近隣市に比べ上回っていますという表現は間違っていないと思います。
村野委員	ごみ減量となればコストが下がるという意見もあったので、コスト削減のためにもごみの減量が必要です。という書き方であればいいと思います。
小林会長	<p>文章に関しては、なかなかいい表現が出ないので、正副会長及び事務局に預けてもらい、協議したいと思います。答申書ができましたら、委員の皆さんにも見ていただき決定させていただければと思います。</p> <p>また、就労環境の配慮のところと、高齢化が進みつつある。のところはいかがでしょうか。委員の皆さんのご意見を伺います。</p>
有賀委員	<p>高齢化のところは、根拠があって言っているのでしょうか。数字が全く出ていないので、本当に高齢化なのか、しっかりデータを集めて根拠に基づいて内容を入れるべきです。</p> <p>また、就労環境の配慮についてもおかしいと思います。指導をして欲しいということでしょうか。</p>
小林会長	委託収集の就労者が、50代が何人とか60代が何人とかというような数値を出した方が良いというご意見でよろしいでしょうか。
有賀委員	そうです、全体的に数字を見せながら、高齢化だという現状を伝えるということです。

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	そこのところは、出せますか。
事務局	以前、委託収集事業者へのアンケートを取らせていただきまして、各年代の人数については把握しております。
小林会長	ありがとうございます。他にございますか。
齋藤委員	最後の文章で、ごみの収集従事者のことが入っていますが、ごみ問題に関しては、いろいろなことが絡んでくると思います。例えば高齢者がどんどん増えていく中でごみの分別ができない、ごみを集めたけれども収集場所に持って行けないという問題が最近出てきております。また、ごみ集積所の管理をする自治体もあります。そう考えると、収集従事者だけのことをここに入れるのもいかがかと思いません。ごみの問題はエコの問題、福祉の問題、地域の問題、といろいろな問題が関係してきますので、そういった問題についても考えた方が良くと思います。
小林会長	非常に範囲が広がってしまいましたが、付帯意見の(3)の「ごみ集積所の設置については人口減少及び、少子高齢化を踏まえ、配置の考え方を整理する必要があります。」と入っておりますので、配置の整理と併せて、そういった対応を考える必要があると思います。今回は収集回数の見直しがメインとなりますので、参考意見とさせていただきます。
小林会長	高齢化が進んでいるということは事実だと思いますが、この最後の2行の意味は、委託事業者からのアンケートで、多くの意見を賜りましたので、事業者への配慮は必要ということを答申に入れたいという思いがあったものです。
小林会長	他にご意見ありますか。
栗山委員	付帯意見の(1)の2行目、「まずは資源になるものを品目ごとに分別し」という文章があります。これは、毎年配られる「ごみの分け方出し方」で判断している方が多いと思いますが、雑がみについては、自分なりに雑がみだと思ふものを雑がみとして出しており、はっきりわかってない方が多いのではと思います。小学校や中学

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	<p>校の保護者会などで、保護者の方が集まるときに資源ごみのことを説明するような時間を設けていただいて、そこで実物を見せて説明するなど、「ごみの分け方出し方」だけでなく実際に、市民に対して説明した方がよろしいかと思ひます。</p> <p>ありがとうございます。ただ今のご意見は、付帯意見の(1)、「ごみ減量についても市民へのさらなる協力を促すため積極的な啓発活動が求められます」という内容になるかと思ひますが、ごみの分別方法の説明をなかなか市民に対して直接できない部分があると思ひます。どの分別ごみに属するのかと迷うことも多あるので、啓発をどのように進めるのか、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>雑がみの回収につきましては、現在、市役所1階の展示スペースで、掲示をしています。やはり、子どもに対しての教育というのが一番大事だと思ひておりまして、施設見学では、ほとんどの学校が参りますので、その時にもう少し啓発物を配るなど、工夫して伝えます。それが家庭で親に広がっていくと考えていますので、今後、重点的にやっていこうと思ひています。特にごみの分別に関しては多くの子どもは分かっていないのが現状で、これからの教育が一番重要と考えています。</p>
小林会長	<p>様々な手法をとって、啓発活動を行っていただければと思ひます。他にご意見はありますか。</p>
村野委員	<p>本文で、上から3段落目の「現在の週6日制から週5日制に変更する」というところですが、諮問では「可燃ごみを週3日から2日にする」と言っている気がします。審議会でもそのような話をしていたと思うのですが、実際は不燃ごみが毎週ある市町村は、あまりなかったかと思ひます。品目ごと収集日程の検討といった内容が入らないかなと思ひます。</p>
小林会長	<p>今年から、プラスチックごみの捨て方が変わったことにより、そのことを含めて収集日程を考えていく状況であろうかと思ひますが、具体的に、どのような文章がよろしいでしょうか。</p>
村野委員	<p>いい文章は分かりませんが、収集品目ごとにその収集回数の必要性をご検討ください。といった内容でしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	収集品目を考慮しながら、といった文章でよろしいでしょうか。
永井副会長	<p>目的はごみを減らすことです。付帯意見の(1)のところで、「家庭ごみの内訳を大きく分類すると資源とそれ以外のごみになります」と表現したところですが、減らしたいのは、「それ以外のごみ」であって、燃えるごみの中から雑がみで出せるものは雑がみにすれば、燃えるごみが減るのではないかという考え方です。その上で資源をどう分別するか。資源はごみではないという認識を持てば市民も、これは再利用できるということで、仕方なく分別するのではなく、積極的に分別するようになってくれないかという思いを込めてこのような書き方をしました。ご理解いただきたいと思ひまして、付け加えます。</p>
河野委員	<p>「地球温暖化対策実行計画」で、2013 年度比とありますが、今年 2023 年が終わり10年経って、2030 年まであと7年、現在で何%くらい削減できているのでしょうか。</p>
小林会長	数字を出すのは非常に難しいかなど。統計は出ますか。
事務局	<p>この計画は、令和5年3月に策定したものになります。統計はかなり専門的なものになりますので、職員ができるものではございません。とはいえ、進捗管理はしていく予定ではありますので、毎年ではないかもしれませんが、数値が出た時点ではホームページ等では皆さんにお知らせする予定となっております。2019年の実績として、2013年度に比べて、マイナス14%というところ です。</p>
河野委員	ありがとうございます。
有賀委員	<p>最近の学生でも食品ロスの研究をしており、日本の食品ロスは世界全体で見てもトップ7に入るくらいで、温室効果ガスに本当に影響するものです。食品ロスを減らすことが、温暖化対策にもなるということがあるので、その意味でも今回のごみを減らすのは重要なことです。埼玉大学でも30年までに校内全体のカーボンゼロにしようという、カーボンニュートラル化を進めていて、年間約7%減らすイメージです。どこの自治体も46%の削減は厳しいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	<p>高い目標を持ってやっておかないとみんな甘えすぎてしまう部分もあるかと思 いますけど、非常に厳しいですね。</p> <p>それでは、ただ今頂いたご意見を元に、正副会長と事務局にお任せいただい て、もう一度文章の見直したいと思います。それでは議長の座を事務局にお渡し ますので進行の方をよろしく願いいたします。</p>
司会	<p>小林会長ありがとうございました。</p> <p>では、続きまして次第4その他です。事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(一般廃棄物処理基本計画の修正について、資料2を用いて説明)</p> <p>(今回審議した答申は、令和6年の1月16日に会長副会長と共に、市長へこの答 申書を渡す。)</p> <p>(次回の第5回審議会を令和6年3月25日予定で開催する。)</p>
司会	<p>次第5 閉会を永井副会長からお願いします。</p>
永井副会長	<p>皆さん今日も様々なご意見を賜りましてありがとうございました。おかげさま で、答申がほぼまとまりまして今事務局からありましたように、1月16日に市長の 方に小林会長と私で提出してきたいと思います。</p> <p>それでは以上を持ちまして、令和5年度第4回の入間市廃棄物減量等推進審議 会を終了いたします。ありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。:

令和 6 年 2 月 21 日

議 長 の 署 名 小林昌幸

議長が指名した者の署名 永井健一

